

# 教科教育創造コース

## ■ 国語教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

国語教育領域では、国語科教育・国語学・国文学・漢文学のいずれかの分野において、高度な専門的知識や研究方法等を習得し、それらを確かな基盤として、初等・中等教育諸学校や生涯学習社会において理論的・実践的能力を発揮し、幅広い視野と柔軟な考え方で、国語教育を創造的に展開することのできる力の育成をめざしています。また、留学生においても本国の言語文化教育に寄与できる高度な理論的・実践的能力をもった人材の育成を目標にしています。国語教育や言語・言語文化に関心があり、高い知的好奇心や強い探究意欲をもつ方の受験を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

勝又 隆・荻野千砂子(国語学特殊講義・特殊演習)、沼尻利通・菊池庸介(古典文学特殊講義・特殊演習)、久保田裕子(近代文学特殊講義・特殊演習)、鶴成久章・竹元規人(中国古典学特殊講義・特殊演習)、前田眞澄・山元悦子・河野智文(国語科教育特殊講義・特殊演習)

## ■ 社会科教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

社会科教育領域では、社会科教育、歴史学、地理学、経済学、社会学、哲学・倫理学、国際関係論の分野の教育に関心を持つ者や研究者を目指す者を主たる対象とし、自らの専門分野における高度な専門的知識と研究方法等を身につけ、初等・中等教育諸学校や生涯教育社会において 21 世紀の社会科教育をリードできる高度な理論的・実践的能力を持った「研究的実践者・実践的研究者」に育てることを目標としています。このため、社会科教育領域の各分野に関する基礎的知識や教科の教育について課題意識を持つ者の受験・入学を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

小田泰司(社会科教育特論Ⅰ)、豊蔭啓司(社会科教育特論Ⅱ)、小川亜弥子(日本史特論)、杉村伸二(東洋史特論)、石丸哲史(人文地理学特論)、黒木貴一(自然地理学特論)、谷本純一(政治学特論)、久本貴志(経済学特論)、喜多加実代(社会学特論)、堀 豊(哲学特論)、小林知子(国際関係論特論)

## ■ 数学教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

小学校算数科や中学校・高等学校数学科の教員又は数学教育の研究者を目指す者を主な対象として、数学教育に関する今日的な諸課題の解決に向けた研究や高い専門性に基いた実践的な授業づくりを理論的に行う力を修得できるよう、数学科教育、代数学、幾何学、解析学、応用数学の各分野における高度な専門的知識とそれらの数学教育への応用について学ぶことができます。このため、学部における数学科教育と数学専門科目の内容について十分に修得し、数学教育について課題意識を持つ者の受験・入学を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

飯田慎司(算数教育特論)、清水紀宏(数学教育論)、岩田耕司(数学教育論演習)、今井一仁(数学教育特論)、坂本隆則(代数学特論Ⅰ)、岡崎亮太(代数学特論Ⅱ)、岩元 隆(幾何学特論Ⅱ)、原 卓哉(解析学特論Ⅱ)、藤本光史(応用数学特論Ⅱ)、中田寿夫(応用数学特論Ⅰ)

## ■ 理科教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

理科教育領域には、理科教育、物理学、化学、生物学、地学の5つの分野があり、これらの分野の教育に関心を持つ者や研究者を目指す者を主に対象として、自ら専門とする分野について高度な知識・技能等を身につけ、初等・中等教育諸学校や生涯教育社会において、21世紀の理科教育をリードできる高度な理論的実践的能力を修得できるよう、理科各分野の教科の指導や教科に関する内容について学ぶことができます。このため、理科教育領域の各分野に関する基礎的知識技能や教科の教育について課題意識をもつ者の受験・入学を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

森藤義孝(初等理科教育特論Ⅱ)、坂本憲明(初等理科教育特論Ⅰ)、甲斐初美(初等理科教育特論Ⅲ)、宇藤茂憲(応用物性特論)、三谷 尚(量子統計力学演習)、松崎昌之(原子核物理学演習)、宮崎義信(初等化学特論)、原田雅章(分析化学演習)、伊藤克治(有機合成化学演習)、長澤五十六(無機化学特論)、小杉健太郎(物理化学特論)、西野秀昭(分子生物学特論)、鈴木浩文(発生物学演習)、福原達人(植物形態学特論)、山崎聖司(植物生理学演習)、金光 理(宇宙科学特論)

## ■ 音楽教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

小学校教員、中学校及び高等学校の音楽科担当教員等として音楽教育に関する知識や技能を高めたい者、また音楽教育の指導者や研究者を目指す者を対象とし、(1)音楽教育の新たな創造や現代的課題の探究、(2)授業設計・実践、そのための教材研究・開発の検討、(3)より高度で専門的な知識や技能の習得等を通して、優れた実践的指導力・教育研究力を備えた教員の養成を目指します。そのために、音楽に関する基礎的知識や技能、音楽教育に関する課題意識をもつ者の受験・入学を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

木村次宏(音楽科教育特論Ⅰ・音楽教育実地研究)、長野俊樹(音楽学特論Ⅰ・音楽教育実地研究)、橋本エリ子(声楽特論Ⅰ)、二宮 毅(作曲特論Ⅰ・音楽教育実地研究)、原田大志(器楽特論Ⅰ)、原 尚志(声楽特論Ⅱ)、武内俊之(器楽特論Ⅱ)、山中和佳子(音楽科教育特論Ⅱ・音楽教育実地研究)

## ■ 美術教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

小学校教員として特に図画工作や書写の教育に関する知識技能を高めたい者、中学校の美術科・国語科書写や高等学校の美術科・書道科の担当教員又は美術や書道の教育研究者を目指す者を主に対象としています。美術教育又は書道教育についての新たな創造や表現、課題の解決、学校現場での指導計画作成、授業展開、教材・教具の選択等を理論的に行える力や研究を行える力が習得できます。自ら専門とする分野における高度な専門知識・技術・能力等を身につけ、高い専門性に基いた実践的な授業づくりを理論的に行える内容について学ぶことができます。このため、美術教育又は書道教育に関する基礎的な知識技能や教科の教育について課題意識を持つ者の受験・入学を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

阿部 守(造形原理特講)、加藤隆之(絵画組成特講)、坂井孝次(書道史特講)、笹原浩仁(図画工作科教育特論)、篠原利朗(構成デザイン特講)、千本木直行(彫刻特講)、服部一啓(漢字技法演習)、本田た志子(美術史特講)、松久公嗣(日本画特講)、宮田洋平(金属工芸技法演習)、和田圭壮(書道科教育特論)

## ■ 保健体育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

小学校体育科・中学校・高等学校保健体育科の教育に関心を持つ者や体育・健康教育の研究者を目指す者を主に対象として、体育・保健体育科の新たな教育の創造や今日的な諸問題を解決する力、高い専門性に基じた実践的な授業づくりを理論的に行える力やこれらの研究を行う力を習得できるよう、体育・健康教育における教科の指導や教科に関する内容について学ぶことができます。このため、保健体育・健康教育に関する基礎的知識及び技能を十分に習得し、教科の教育について課題意識を持つ者の入学・受験を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

相部保美(保健体育実地研究)、兄井 彰(体育科教育特論)、市丸直人(身体機構特論)、榊原浩晃(体育史特論)、清水知恵(舞踊学特論)、鈴木 淳(バスケット運動学特論)、片平誠人(コンディショニング特論)、本多壮太郎(武道運動学特論)、檜崎教子(柔道運動学特論)、樋口善之(学校保健・衛生学特論)

## ■ 技術教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

小学校のものづくり、中学校「技術・家庭科 技術分野」、高等学校「工業科」の教育に関心をもつ人や、技術教育・ものづくり教育の実践者・研究者を目指す人を主に対象として、技術に関する教科・科目の新たな教育内容・方法を創造する力、今日的諸課題を解決する力、高い専門性に基じた実践的な授業づくりを理論的に行える力、これらの研究を主体的に行う力の習得を目指します。本領域では、技術教育・ものづくり教育に関する教科の内容・指導方法について、幅広く学ぶことができます。このため、技術教育・ものづくり教育に関する基礎的知識・技能をもち、小学校のものづくり、中学校「技術・家庭科 技術分野」、高等学校「工業科」の教育について高い課題意識をもつ人の受験・入学を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

古川 稔(金属加工技術特論)、白石正人(情報処理技術特論)、有川 誠(技術科教育特論)、平尾健二(栽培技術演習)、大内 毅(木材加工技術特論)、梅野貴俊(機械技術特論)

## ■ 家政教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

小学校教員として特に家庭科教育に関心をもつ者や、中学校・高等学校における家庭科の担当教員又は家庭科教育の研究者を目指す者を主たる対象として、家庭科の新たな教育の創造や今日的な諸課題の解決、学校現場での指導計画作成、授業展開、教材・教具の選択等を理論的に行える力やこれらの研究を行う力を修得できるよう、家庭科教育における教科の指導や教科に関する内容について学ぶことができます。このため、家庭科教育に関する基礎的知識技能や教科の教育について課題意識をもつ者の受験・入学を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

甲斐純子(家庭科教育特論A・IB)、貴志倫子(家庭科教育特論A・IIB)、秋永優子(食物学A・B)、奥谷めぐみ(家庭経営学A・B)、長山芳子(被服学IA・IB)、堀 雅子(被服学IIA・IIB)、鈴木佐代(住居学A・B)、阿曾沼 樹(家庭工学A・B)

## ■ 英語教育領域

### 【育成しようとする力、受験を期待する人材】

小学校教員として外国語活動や中学校・高等学校の英語科担当教員として英語教育の指導に関する知識技能を高めたい者又は英語教育や文学、文化、言語、コミュニケーション等の領域の研究者を目指す者を主に対象として、英語教育(外国語活動を含む)についての新たな教育の創造や課題の解決、高い専門性に基じた実践的な授業づくりを理論的に行える力やこれらの研究を行う力を修得できるよう、高度で専門的な知識や指導者に求められる高い英語力を身につけ、教科の指導や教科および関連分野に関する内容について学ぶことができます。このため、研究に必要な英語力、英語教育や関連分野に関する基礎的知識技能と課題意識を持つ者の受験・入学を期待します。

### 【担当教員と主たる担当授業】

森 千鶴(英語教育II)、宮迫靖静(英語教育特論)、江頭理江(米文学A)、後藤美映(英文学A)、Todd Jay Leonard(異文化理解A)、岡 俊房(言語学A)、中島 亨(応用言語学A)、吉武正樹(英語コミュニケーションA)

※担当教員については、平成30年4月1日(予定)です。教員についての詳しい情報は本学ホームページをご覧ください。